

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月13日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	35120
政策名 (章)	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 輝き魅力ある都市の創造		企画政策課
施策名	にぎわいと遊び機能の創出	課長名	田所直久

1 施策の概要・目的

商業、アミューズメントなど遊び機能の集積や話題性の高いイベント等の誘致・開催を図るなどハイセンスなにぎわい空間の創出を目的とする。

2 施策の現状

商業施設やテーマパーク等アミューズメント機能の集積、「ムービータウンさがみはら」の創造に向けた取り組み、更には各種国際大会、話題性の高いイベントやコンベンションの誘致・開催。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

124,543 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

202 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **77** 番目です。

(4) 施策に要している人員

4 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標	
			現状	0	50	100	目標年度
指標1	テーマパーク等アミューズメント機能の集積	アミューズメント機能の集積状況	0	0	50	100	目標年度
			施設 単位	現状	22	達成度	0
指標2	「ムービータウンさがみはら」の創造	「ムービータウンさがみはら」の進捗状況	0	0	50	100	目標年度
			事業 単位	現状	22	達成度	0
指標3	各種国際大会、話題性あるイベント、コンベンションの誘致・開催	誘致・開催状況	0	0	50	100	目標年度
			事業 単位	現状	22	達成度	0

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

魅力ある商業施設やアミューズメント、イベントなど、潜在的ニーズは高いと思われる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

対象となる事務事業の該当はないが、施策に対する事業については、様々な諸事情で実現されないものが多い。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

必要な施策ではあるが、一過性ではなく、市民・民間等が主体になったユニークで継続しているものでなければ、効率性は上がらないと思われる。

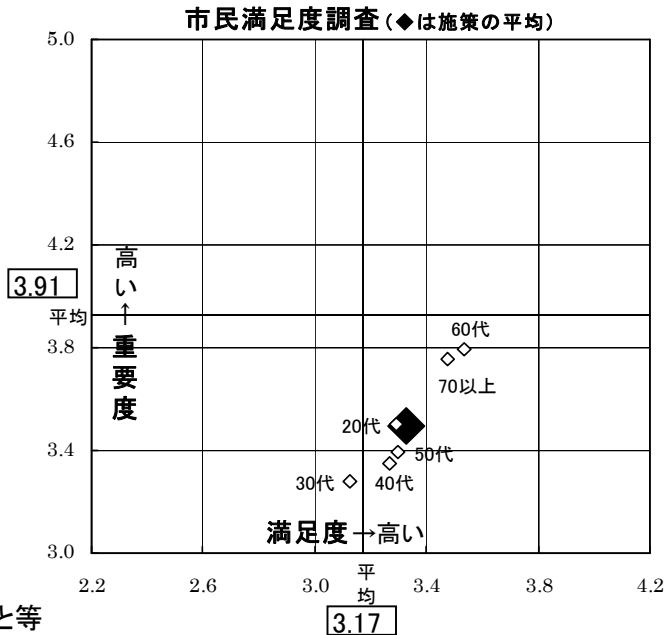
8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.326で、調査した51施策の中で9番目です。

◆この施策の重要度は、3.492で、調査した51施策の中で49番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・テーマパーク等のアミューズメント施設の経営の難しさ
- ・話題性のあるイベントや国際大会を招致することの難しさ
- ・本市の地理的・交通的特性

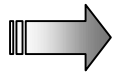
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

相模大野、橋本等長期不況の中でも着実に商業等の集積が進んでいるが、市内だけではなく他市町村からの集客もなければ成功しないもので、焦点を絞った取組みの見直しが必要と考える。
特に、テーマパーク等アミューズメント機能の集積や「ムービータウンさがみはら」の創造については、社会経済情勢の観点からも見直しが必要と考える。

11 2次評価

説明

A

B

C

行政の役割について整理すること。

12 外部意見

説明

社会経済情勢の変化に対応した施策内容を再検討すべきである。

